

# 被災体験の伝承考える

25・26日 南三陸で語り部シンポ



南三陸ホテル観洋で昨年1月に開かれた東北被災地語り部フォーラム

東日本大震災の体験を語り継ぎ、防災・減災につなげようと「第3回全国被災地語り部シンポジウム in 東北」(同実行委員会主催)が2月25日(日)、26日(月)、宮城県南三陸町で催される。参加無料。

2日目は宮城、岩手両県の語り部による講話や、気仙沼市と石巻市大川地区を訪ねる語り部バスのオプションツアーを予定している。

初日は午前10時と同11時から語り部バスが運行される。午後は「普遍性・持続性のある震災伝承と震災遺構」をテーマにパネル討論がある。分科会では、東北や兵庫、和歌山県などから語り部が集まり、被災地の教訓を世界へ発信し続ける

「ホテル観洋」のホームページから参加申込書をダウンロードし、ファクス0226(46)6200かEメール minamisan@riku\_somu@kanyo.co.jpへ送る。締め切りは18日(日)。

問い合わせ先は「全国被災地語り部シンポジウム in 東北」実行委員会事務局(南三陸ホテル観洋内) 0226(46)2442。

2018年2月6日(火)

【河北新報】